

三条別院のご案内

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三条別院に想う

昔、よく散歩したり走りまわったりしてたな
昔、裏山があったよな

三条マルシェに携わる様になってから、昔み
たいによく訪れる様になりました

すごく懐かしく感じています

この街の中心にある別院さん

時代は変わっても三条の中心から、街全体を
見守るかにようにそこにいてくれていますね
色んな時代を見てきたんだと思います

別院さん、もしこの街の今とはちよつと違つ
た風景が見れたらどうですか？

もし、昔見ていたような懐かしい風景も
また見れるかもしれないとなったらワクワク
しませんか？

私は【鍛冶ガール】という2次元キャラを、
多くの方々と共にこの街に誕生させました

もしかしたらその鍛冶ガールが、そんな風景
を見せてくれるかもしれません

別院さん、その時は鍛冶ガールが別院さんの
敷地内を散歩したり走りまわったりするかも
しれませんが、その時は許してあげてくださ
い

そして、この街のちよつと違つた風景をニコ
ニコしながら見守ってください

この街を、今よりも元気で面白い街にしてい
きたいと想います

昔走りまわっていた別院さんの敷地内で、そ
う想います

鈴木千博氏 (三条マルシェ実行委員)

▲二月十六日、三条体育文化センターでの三条マルシェに
て、「鍛冶ガールのバレンタインパーティー」と称したイベ
ントによって、鍛冶ガールの全貌が公表された。ゆくゆく
は三条を鍛冶ガールの聖地化することによって「萌え」で
町おこしを計画しているということですよ！

三条体育文化センター開
催の三条マルシェでは2
万人以上の来場者があり
ました！

(前列中央が鈴木氏)



○次回の「三条別院に想う」は、

山際陽子氏(宮大工長谷川熊平を考える会)より

ご執筆いただきます



鍛冶ガール Their friendship makes dream come true.

◎今月の法話講師

藤岡 正典氏 (佐渡組淨願寺)

～歎異抄に聞く～ 【第八章】

◆今後の講師一覧

～『歎異抄』に聞く～

四月 本多智之氏 (第十八組永傳寺) 【第九章】

五月 朝倉 奏氏 (第二十組金寶寺) 【第十章】

六月 田村大輔氏 (第二十組専念寺) 【第十一章】

▲法話の記録『廣河が「歎異抄」に聞く』を聞くをホ

ムページで更新しております。

<http://sanjobetsuin.or.jp/>

定例法話会のご案内

毎月十三日の前門首のご命日 (両度の命日) に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。二月からは仏教入門講座「釈尊伝」です。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より (二時間程度)

◆場所 三条別院 旧御堂

二月～四月 (全三回)

富沢慶栄氏 (第二十一組超願寺)

◆講題 「釈尊伝―仏教入門講座―」

◆聴講無料 ご自由にお参りください。

▲釈尊の生涯について、二月は釈尊の生涯を八つのすがたであらわす「八相成道」のうち「降兜率・託胎・降誕」をお話しいただきました。次回は「出家」以降についてお話しいただく予定です。

▲定例法話にあわせ午前十時から座談、午後二時三十分から座談や簡単な清掃を行っています。



その他の講座案内

○別院声明教室 (全五回・途中参加可能)

〔月一回、午後六時～八時〕

二月十八日 (火) 〔落〕、三月二十四日 (火)、

四月二十一日 (火)、五月八日 (金)、六月十九日 (金)

講習内容 真宗大谷派勸行集 (赤本)

講師 島津崇之氏 (第十八組満行寺)

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威氏 (新潟県書道協会理事)

月謝 三三〇〇円 (テキスト代含む)



随時募集中

○庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

○花講・三条別院有志の会

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っています。

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代 (昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○三条別院巡回

三条別院から御本尊 (絵像) をお迎えして、開法会を開催しませんか? 輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。

◆編集後記◆

記録的に雪が少ない今年の冬。私自身、暖かい風やお日さまの陽気を浴びると、「本当に冬なのだろうか」と錯覚してしまうこともある。地球温暖化などの影響が言われる中で、私がたびたび感じるのは「地球も風邪をひいている」ということである。この言葉は、作家である司馬遼太郎が綴った『二十一世紀に生きる君たちへ』の文章中に記載されている。そしてその後、「人間は、自分で生きているのではなく、大きな存在によって生かされている。」という文章が続いている。大きな存在というのは、私たちを支えている自然のことを表している。

さて風邪をひいているといえば、中国を中心に世界各地で感染が拡大し日本国内でも脅威となっている新型コロナウイルスのことを思い起こさずにはいられない。マスクや消毒液は瞬く間に品薄になり、多くの行事が中止となるなどさまざまなところで影響が広がっている。自然は日々の生活を支えるだけでなく、時に厳しさとなって私たちに襲いかかってくるのである。

このことは人々の繋がりにおいても同様である。独りで生きていけないのが人間である一方、交わることで時にぶつかり合うのもまた人間である。いつの時代も苦悩しているのが私たちであるし、仏様の教えを通じてともに開法することの重みについて考えさせられる。

春彼岸までひと月となった。一生涯絶えることのないいのちの声に耳を澄まし、ご縁のある方々とつながっていくひとときとなることを思う次第である。

(田澤)

鍛冶ガールに思う

三条別院の職員として私が町おこしをしたいと思うのは、別院周辺の本寺小路や中央商店街や一ノ木戸商店街がふたたび賑わえば、三条別院への参詣者が増え、仏教を聞いてもらうきっかけになればという理由である。この「町おこしをしたい」という理由は、中小企業であれば経済を活性化したいということや、過疎などに伴う人口流出の加速などの深刻な問題や、実生活における不便（スーパーマーケットや病院など）の問題や、あるいは仲間を増やしたい、あるいは自己実現の場としたいということだったり、自分たちの町を自分たちで作るという意識であったり、さまざまであると思われる。さて、今回の主題の「三条マルシェ」であるが、三条別院も年に1回程度会場となるということで、実行委員としても参加させていただいている（別院開催の時の会議はなるべく出席。その良さは三条市民みずからによる実行委員制で、やけに頻度が多いことや、それに伴う気軽さや敷居の低さだといえる。そこには多種多様な町おこしの動機が集まってくる。今回三条市体育文化会館のリニューアルイベントで三条マルシェが行われた際には、「萌え」で町おこしをしたいということで（「萌えおこし」というのはもはや現代用語になっているという…）、委員の懸命の働きかけで、「鍛冶ガール」というキャラクターが短期間で誕生した（それを私は横で見ている）。短期間に委員間で多量のやりとりがあり

すぎて私はマルシェのグループラインの着信通知をオフにしたくらいである。今後は映画化などを目指しているというが、このような過剰な情熱を敷居を低く受け入れる土壌が三条マルシェにはあるということなのである。今回発案者の鈴木さんから原稿を書いてもらい、認知度が高まる前に青田買いましたので、ゆくゆくはこの記事の価値が出るかもしれない。あるいは星くずとなつて消えるかもしれない。しかし、お寺は敷居が高いと言われることもある昨今このような取り組みに学ぶことがある。（斎木）

春彼岸会のご案内

春彼岸会を左記の通り厳修いたします。有縁の方々をお誘いあわせの上、是非ご参詣下さい。

◇期 日 三月十七日（火）～十九日（木）

◇日程および法話講師

十七日（火）

午後一時三十分より逮夜法要

法話 高橋 深恵 氏（第十一組願興寺）

十八日（水）午前十時より永代経総経

法話 中山 善雄 氏（教学研究所研究員）

おとき（正午）

午後一時三十分より逮夜法要

法話 ひき続き 中山 善雄 氏

十九日（木）午前十時より日中法要

法話 中山 善雄 氏

▲今回は本山の教学研究所で真宗を研究している中山善雄氏にお話しいただきます。

▲十八日正午に、お斎を真加金二千円にて、ご用意いたします。

す。ご希望の方は三月十三日（金）までにご連絡下さい。お斎は三条スパイス研究所と協力して開発した春の息吹を感じる精進カレー「釈迦礼拝当」です！

▲春彼岸に先立ち、三月十一日（水）午後二時四十六分（東日本大震災発生時刻）に勿忘（わすれな）の鐘を撞きます。



宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げております。

なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日 時 三月二十八日（土）午前十時より

◆会 場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日）日中法要

文信偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和 讃 回 口 次第六首

回 向 願 以此功德



三条教区通信

第150号

発行日 2020年2月26日 修正版
 発行者 三条教務所長 森田成美
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
 Tel (Fax): 0256-33-2805 (2847)
 Email: sanjo@higashihonganji.or.jp
 Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

本当のものが わからないと
 本当でないものを 本当にする

安田 理深

When you don't understand the real thing,
 you take the unreal the real.

Yasuda Rijin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

地震・台風・豪雨により被害を受けられた皆様に
 謹んでお見舞い申し上げます

このたび、お願いをしておりました台風19号の災害救援金につきまして、1月末にて教区内の受付を締め切りました。合計で615,699円の救援金が集まり、全額を本山災害救援金口座に送金させていただきました。たくさんのご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

災害支援実行委員会の活動にご協力ください

主に春夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、引き続き勧募いたしております。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、宗派では困難な状況に直面している被災地や被災者の方へ1日も早く宗派救援金をお届けするため、災害の種類や発生の有無に関わらず、「災害救援金口座」を設けて対応しております。何卒ご協力ください。

真宗大谷派災害救援金口座

【郵便振替口座番号】00920-3-203053

【加入者名】真宗大谷派

研修会のご案内

■ 教学研究会

案内 既送

- ◆日時 ①2019年11月18～19日(月火)済
 ②2020年3月2～3日(月火)
 ③2020年5月11～12日(月火)
 各回 第1日目 13:30～18:30(後、懇親会)
 第2日目 10:00～17:00
- ◆場所 三条別院
- ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)

- ◆内容 教行信証 化身土巻
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 2,500円/1日(懇親会費別)
 年会費の場合10,000円(全日分、懇親会費別)
- ◆教師陸補 教師陸補に必要な受講証(第2種)が発行される研修会です(2日間参加が必要)。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

■ 仏青交流研修会

案内 同封

- ◆副題 お坊さんはスパ研にいる special
- ◆期日 2020年3月21日(土) 17:30～
- ◆場所 三条スパイス研究所
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 声明基本講習会

案内/申込書 既送

- ◆日時 2020年3月31日(火) 9:45～16:00
- ◆場所 三条別院
- ◆講師 部門スタッフ
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆申込み 教務所へ3月10日(火)まで。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:水野)

■ こども会

案内 同封

～お寺の子ども会立ち上げをサポートします！

- ◆期日 2020年3月31日(火) 15:00～16:30
- ◆会場 第22組善行寺(村上市大工町1-5)
- ◆内容 仏さまのお話を聞こう！
 楽しいゲームをしよう
 大型紙芝居を見よう！
 バルーンパフォーマンスと一緒にたのしもう！

- ◆参加費 無料、申込不要
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ (保育)新任者研修会

案内 同封

- ◆日時 2020年4月25日(土)
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 講義:五島 満氏(銀の鈴幼稚園園長)
 ボイトレ:窪 瑤子氏(音楽教室・劇団講師)
- ◆対象 大谷保育協会加盟園職員
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 新潟地区女性研修会

案内 後送

- ◆期間 2020年5月25日(月) 10:00～15:30
- ◆場所 第21組願浄寺(新潟市中央区長嶺町10-11)
- ◆講師 齊藤 研氏(第15組正樂寺)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食・茶菓子代含む)
- ◆申込先 後日ご案内します。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:結城)

■ 結の会のつどい

案内/申込書 同封

(若坊守准坊守のつどい)

- ◆期 日 2020年5月26日(火) 10:30～
- ◆場 所 三条別院
- ◆講 師 酒井義一氏(東京教区東京5組 存明寺)
- ◆対 象 若手女性寺族(准・若・坊守等問わず)
男性坊守
- ◆参加費 1,500円(昼食代含)
- ◆申込先 各組坊守会長へ5月7日(木)まで
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西村・宮堂)

■ 三条教区教化センター公開講座

案内 後送

- ◆日 時 2020年5月28日(木) 14:00～16:00
- ◆会 場 三条別院
- ◆講 師 種村健二朗氏
(元国立がんセンター病院婦人科病棟医長)
- ◆内 容 死や苦悩と向き合うことについて
医療従事者その現場に向き合ってこられた種村先生からお話をうかがいます。
- ◆対 象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:高田)

■ 教区女性研修会

案内 後送

- ◆期 間 2020年6月5日(金) 10:00～15:30
3月16日から延期しました。
- ◆場 所 三条別院
- ◆講 師 三明智彰氏(九州大谷短期大学学長)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～
- ◆講 題 「出遇いなおし正信偈に聞く」
- ◆対 象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食・茶菓子代含む)
- ◆申込先 後日ご案内します。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:結城)

■ 墓地管理に関する学習会

案内 同封

- ◆日 時 2020年6月12日(金) 13:30～16:30
- ◆会 場 三条別院
- ◆講 師 横田 睦氏
(公益社団法人全日本墓園協会主任研究員)
- ◆対 象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:高田)

■ 真宗教団連合 公開講演会の中止について

2020年3月12日(木)に英月さんによる講演「アミダビーム」を開催予定でありましたが、新型コロナウイルス対策のため中止となりました。

■ 教区坊守研修会報告

教区坊守会長 永寶幸江(第10組浄敬寺)

講師に木村邦和先生(第13組専行寺)をお迎えして、「問いについて」の講義をいただきました。坊守会連盟テーマ「いま寺(ここ)に生きる～問いとともに歩む生活を～」を教区坊守会でも研修テーマとして取り組んでまいりました。

木村先生は「坊守にかけられた願いだとか、その任務とかを自覚したから学ぶのではなく、人生に必要なから学ぶのです。(ご縁によって)せつかく寺に身を置くことになったのですから、その宗教的環境のなかで住職さんやご門徒さんと共に仏教の教えにふれつつ、この世のありさまや自身の

ありさまやお念仏の教えなどについて問い訊ね、有意義な人生を歩んでください」と最初に呼び掛けてくださいました。

そして、問い訊ねるとは、問い→わかった→わからない→再問→わかった→わからないの繰り返し、問い続ける歩みが聞法生活であること。

仏の教えを聞きながら人生を考えていくなかで、問いの質的転換が起きていく、そのことをしかも寺という宗教的環境はその転換を促す有難い場所であること。

久保龍雲さんの手記や鈴木章子さんの著書『還るところはみなひとつ』から転換される姿をお話いただきました。

46人の参加者、年末の半日研修会でしたが、聞法生活の一年を振り返る貴重な研修会でした。

■ 教区秋安居報告

2019年12月9日～10日開催 参加者48人

第18組等運寺 塚本智秀

教区秋安居では田代俊孝氏をお迎えし、安居本講テキスト『愚禿鈔』講讀にそって、講義していただきました。

まず、今回の講義の特徴は、本講テキストの他に、よい参考資料が用意されたことです。それは『真宗学講義ノート』という筆録ノートで、同朋大学別科の真宗学講義(概論)における田代氏の講義をベースに、同氏と学生がともに作り上げたものです。このノートは内容が豊富で、参加者からの質疑に対して「〇〇頁の〇〇に書いてあります」と応じることができる程でした。加えて、このノートは大変よく整理されています。具体的には、真宗学をテーマ毎に分けてあり、用語の説明をし、一つ用語でも複数の解釈・立場があれば列挙し補足説明を付け、参考にすべき聖典の箇所を多数引用し、比較や列挙や対応関係を示すときは図表を用いています。これらの配慮の理由は、ノートの序にあるように、同朋大学別科には「さまざまな人が在籍していた。その人たちに、難解な真宗の教義をいかに伝えるか、いかに関心を持ってもらうか、苦心の連続であった」からのようです。

一方で、『愚禿鈔』もノートやメモ書きのような形ですが、読み手に知識や背景の理解がないと、読みにくいです。その知識・背景を、講義でお話していただきました。内容がまとめ切れませんので、その中で特に心に残ったことを二つ記して終えたいと思います。

二双四重の教判はそれぞれの優劣を論じた訳でなく、自身の歩むべき道の認識と受けとるべきである。

真宗のご利益には、ほとけさんを利用しようとするあなたの醜いところが見えてくるご利益があります。

『駐在教導のつぶやき』はお休みします。

教務所からのお知らせ

◎新型コロナウイルス感染拡大にともなう今後の教区教化事業について

三条教区教化事業におきましては、感染拡大の防止だけでなく、参加者の誘い合わせができない等の観点から、担当部門による検討の結果、延期となった事業も出てきています(2020年2月21日現在、2月22～24日に予定されていた教区推進員後期教習が無期延期。3月16

日に予定されていた教区女性研修会が6月5日に延期)。また、各組の教化事業においても中止・延期の対応がなされたとの報告が届いています。

そのような状況ではありますが、開催規模や形態が事業によって異なるため、現時点では教区として一律の教区教化事業の中止・延期の対応はとらないことといたします。

しかしながら、今後の感染拡大状況を踏まえ、対応は適時見直していくこととします。また、三條教務所・別院においては、消毒液の配置や職員のマスク着用等を行い、感染機会を減らすため努めてまいります。

◎教区・別院行事予定 日程は変更される場合があります。

2020 年	
3/2(月) 13:30	～3/3(火) 17:00 教学研究会2
3/4(水) 15:00	児童夏の集い執行部会
3/5(木) 14:00	御坊市執行部会 教化センター会議
3/7(土) 13:30	真宗学院特別講義3
3/9(月) 14:00	別院教化審議会
3/10(火) 14:00	別院報恩講教化部会
3/11(水)	第15組別院奉仕研修 14:00 勿忘の鐘 15:00 声明講習会部門会議 18:30 別院書道教室
3/12(木) 13:30	教区坊守会役員会
14:00	教区連合公開講演会 セレモニーホール飛燕
3/13(金) 10:00	別院庭講・定例法話
15:00	御依頼適正審議会
3/16(月) 10:00	女性研修会部門会議/学習会
16:00	別院子ども奉仕団会議
3/17(火) 13:30	～19(木)別院春彼岸会
15:00	災害支援実行委員会
3/19(木) 14:00	推連協執行部会
3/21(土) 17:30	仏青交流研修会 三條スパイス研究所
3/23(月) 10:00	別院報恩講に関する事務局会議
3/24(火) 10:00	ダイソン・レイコップ奉仕団
14:00	協議部会
18:30	別院声明教室
3/26(木) 14:00	全戦争犠牲者追弔法会実行委員会 教化センター学習会
3/27(金) 13:30	宗祖御命日逮夜法要
3/28(土) 10:00	宗祖御命日中法要
3/30(月) 14:00	正副組長就任予定者会
3/31(火) 10:00	声明基本講習会
15:00	子ども会巡回サポートプラン
4/1(水)	～3日(金)春の保養事業
4/2(木)	～3日(金)別院子ども奉仕団
4/4(土) 14:00	真宗学院第2学年度始業式
4/6(月) 14:00	研修部会
4/8(水) 13:00	東北連区青少幼年教化連絡協議会
18:30	別院書道教室
4/9(木) 14:00	教化センター学習会
15:00	保育研究部会
4/10(金)	～12日(日)選出教区会議員選挙 立候補届出期間

4/11(土) 14:00	真宗学院
4/13(月) 10:00	庭講・定例法話・有志の会
4/14(火) 13:00	全戦争犠牲者追弔法会
4/15(水) 16:00	青少年3部門全体会
4/16(木) 14:00	教化センター学習会

新潟親鸞学会からのお知らせ

当会は、越後と佐渡の風土の中で、親鸞にゆかりのある仏道の学びを、宗派を横断して新しい視野で展開したいと、2003年結成されたローカルパーティーです。

現在、僧俗男女 260名の会員が参加しています。学者の会ではありません。親鸞聖人に関心のある方、念仏に生きた私たちの祖先に興味のある方、仏教に関心をお持ちの方でしたら誰でも入会いただけます。年会費¥5,000-

なお、今年の主な予定は次の通りです。

【年間計画の予告】

1 特別講座(真宗教団連合新潟県支部と共催)

- ・日時 3月3日(火)13:30～16:30
- ・会場 真浄寺本堂(新潟市西堀2)
- ・講題 「越後法論の概略とその影響 — 三業惑乱の前哨戦として —」
- ・講師 井上見淳氏
- ・聴講料 無料

2 第17回大会(白根大会)

- ・期日 5月21日(木)
- ・会場 吉運堂サルナート(新潟市南区戸頭)
- ・内容 会員総会・研究発表・記念講演
- ・記念講演講師 長谷正當氏(京都大学名誉教授)
- ・講題 未定

3 史蹟研修旅行

- ・期間 2021年1月末～3月初旬の3泊4日間
- ・内容 新潟大学柴田先生の案内により台湾の近・現代仏教を学ぶ
- ・行き先 台湾(中華民国)
- ・費用 10万円程度
- ・募集人数 20人程度

4 紀要・機関紙の発行

- ・『新潟親鸞学会紀要』第15集 5月刊行予定
- ・「親鸞NOW」No.29 2月発刊(年2～3回)

5 関連事業

- ・親鸞聖人越後御旧跡奉賛会
- ・明治期の新潟新聞を読む会

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783

Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Email choganji@nifty.com

